



初めにお読みください

本アプリは下表の要件を満たすスマートフォン（以下、スマホ）またはタブレットでご利用いただけます。

端末要件	iOS	OS 11.0以降に対応（2021年6月現在）
	アンドロイド	OS 7.0以降に対応（2021年6月現在）

※ 端末・OS要件を満たしていても、組み合わせによっては本アプリが正常に動作しない場合があります。

※ 特にアンドロイド端末に関しては、端末の種類によっては本アプリが正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 初代iPadをOSバージョン12.5でお使いの場合、本アプリが正常に動作しない場合があります。

※ 本書に掲載した操作画面や画面構成は予告なく変更される場合があります。またOSバージョンによっても画面が異なる場合があります。

※ iPad、iPhoneはApple inc.の登録商標です。
※ Google、Android、Google Play は、Google Inc.の商標です。

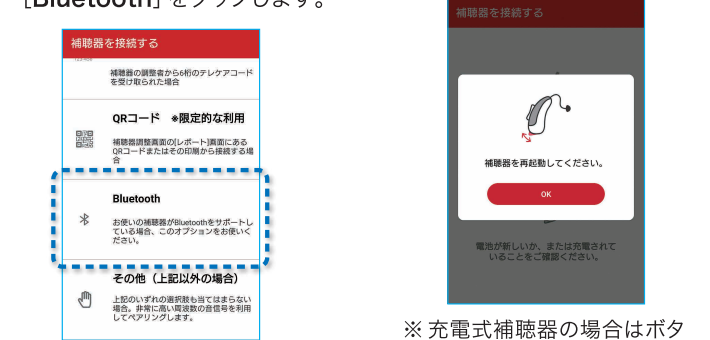
3 シグニア アプリを開き、Bluetoothペアリング

⑤ [Bluetooth] を選択

シグニアアプリ ホーム画面で [Bluetooth] をタップします。

⑥ 補聴器の再起動

いったんオフ ⇒ オンします。



※ 充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器にセットしてオフ。

⑦ 補聴器を接続する

表示された補聴器をタップします。



シグニア アプリを使える補聴器 … signiaブランド補聴器（Funを除く）

- ただし、Bluetooth機能を搭載した器種、より上位クラスの器種、片耳よりも両耳装用、の方がシグニアアプリで利用できる機能はより多くなります。
- シグニアアシスタントを利用するにはBluetooth機能を搭載したSignia Xperience補聴器が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

1 シグニア アプリのダウンロード・インストール

- ① お使いのスマートフォンでApp Store / Google playストアを開きます。
- ② 検索ウィンドウに「シグニア」（または「signia」）と入力します。
- ③ アプリを入手してください。



2 Bluetoothペアリングの準備（iPhoneの場合）

- アンドロイドのBluetoothペアリングの場合、ステップ 3 へお進みください。
- Bluetoothを使わないペアリング（高周波音を利用）の場合、ステップ 4 へお進みください。

① 補聴器の準備

両耳あるいは片耳の補聴器に新しい電池を入れてください。ここではまだ補聴器の電源はオフのままとし、電池ケースを開けておきます。

※ 充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器にセットしてオフ。



② Bluetooth機能をオン

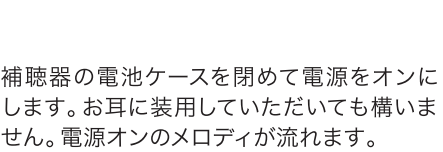
画面の下端上にスワイプしてコントロールセンターを表示します。Bluetoothアイコンをタップします。

（右図の青色がオンの状態）

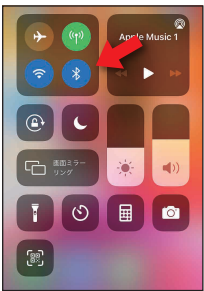


③ 補聴器の検出

[設定] > [アクセシビリティ] をタップします。



[ヒアリングデバイス] または [MFi補聴器] をタップします。補聴器の検出が自動的に開始されます。



④ Bluetoothペアリング

検出が完了すると補聴器名および左右が表示されます（下図-左）。

- （※1）片耳または両耳の補聴器が正しく検出されない場合は… 前の画面に戻って補聴器の電源を入れ直し ⇒ 再検出…をお試しください。
- （※2）それでも正しく検出されない時は… いったん「このデバイスのペアリングを解除」（★）してからやり直してください。
- （※3）スマホの再起動も正しい検出に効果があります。併せてお試しください。

「補聴器名」をタップすると下図ダイアログボックスが表示されます。[ペアリング] をタップします（◆）（下図-中）。

（両耳の場合、ダイアログボックスが2回表示されます）

ペアリングが完了すると、下図ように補聴器名や電池残量が表示され、ここで補聴器の簡単な操作もできます（下図-右）。



以上で補聴器とスマホ端末のペアリングは完了です。

POINT いったんペアリングが完了すれば、以降は補聴器／端末の電源を入れ直しても自動的に再接続されます。再接続されない場合は、手順 ①～④ をやり直してください。

⑨ 接続に成功しました

[ここをタップ] をタップします。

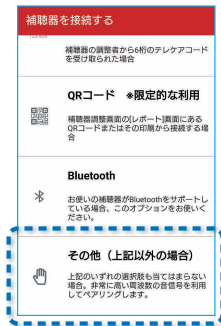


4 Bluetoothを使わないペアリング（音を利用）

- Bluetoothを搭載していない器種等の場合、ヒトの耳では聞こえないような高周波音を使ってペアリング・補聴器の操作を行うものです。

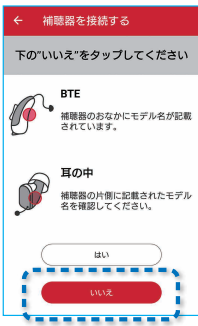
① [その他（上記以外の場合）] を選択

ホーム画面で [その他] をタップします。



② [いいえ] を選択

下の [いいえ] をタップします。



③ 接続の準備

補聴器をいったん オフ ⇒ オンします。



※ 充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器にセットしてオフ。

「メディア」を選択します（iPhoneでは表示されません）。[接続する] をタップすると、ペアリングのための信号音（非常に高い周波数で多くの場合ほとんど聞こえないような特殊な信号音波）がスマホから出ます。あらかじめ次のことに注意してください。

- スマホが音量設定がミュートでなく、音の出る状態であること
- × スマホにヘッドホン端末、Bluetooth端末等が接続されていないこと

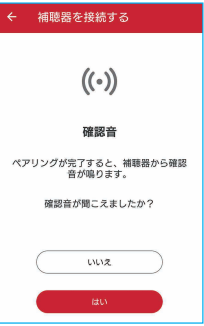
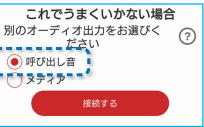
アンドロイド端末の種類によっては、上記のような注意をお守りいただいてもどうしても接続できない場合があります。その場合、右図のように「呼び出し音」を選択して [接続する] をお試しください。

※「呼び出し音」の場合、マナーモードではアプリの操作ができなくなります。

④ 確認音

補聴器から確認のための電子音が聞こえたら [はい] をタップします。

（聞こえなければ [いいえ] をタップし、③からやり直してください。）



⑤ お使いの補聴器は、「指向性機能を搭載」、「7/5クラス」、「両耳装用」ですか？

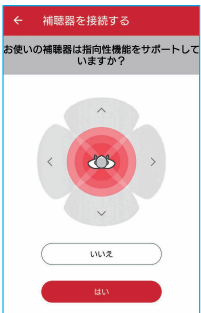
3つの条件を満たす場合 ⇒ [はい]
1つでも満たさない場合 ⇒ [いいえ]

※ 指向性機能を搭載していても「マニュアル指向性」を利用できるのは7/5クラスで両耳装用といった条件があります（詳しくは裏面の「⑤ マニュアル指向性」をご覧ください）。

⑥ プログラム数

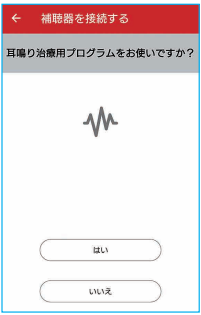
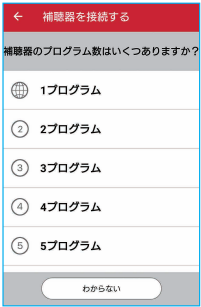
販売店が設定したプログラム数をタップします。

※ 不明の場合は [わからない] をタップします。「1プログラム」で設定されます。



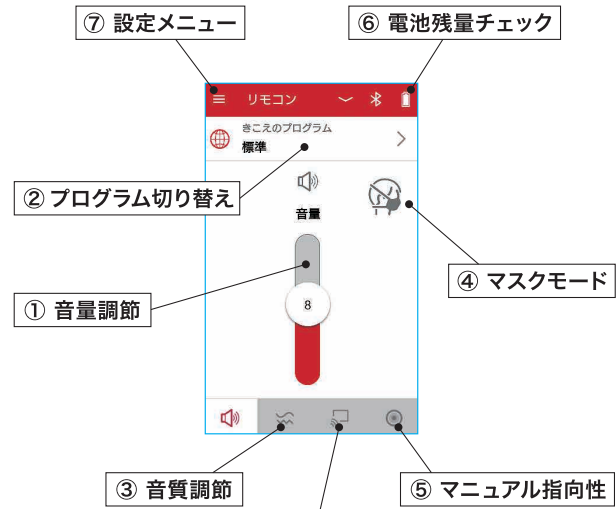
⑦ 耳鳴り治療用プログラム

医師の指導のもとに利用するものです。通常は「いいえ」をタップします。



●「リモコン機能」画面

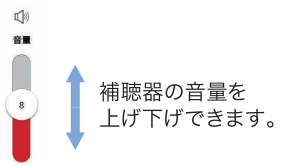
※ 下図の各機能アイコンはお使いの補聴器の器種・クラス・片耳／両耳によっては表示されない項目があります。



Bluetooth ダイレクトストリーミング

(Bluetooth搭載補聴器のダイレクトストリーミング音量を変更します。
※すべての器種で表示されるものではありません。)

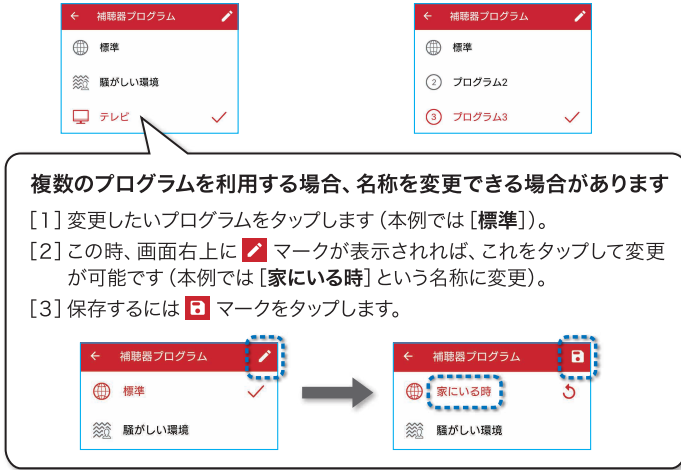
① 音量調節



② プログラム切り替え

下図は3つのプログラムを持つ補聴器の例です。
変更したいプログラムをタップすることで切り替えられます。

Bluetooth ペアリング プログラムの名称も表示されます
その他の方法 (音を利用) でペアリング プログラム番号だけが表示されます



③ 音質調節



④ マスクモード

※ Bluetooth機能を搭載した Signia Xperience 補聴器が必要です

※ プログラム [標準] でのみ利用可能



オンにするとマスク越しの音が聞きやすい音質に変わります。
アイコンをタップするたびに機能が オフ ⇒ オン します。

⑤ マニュアル指向性

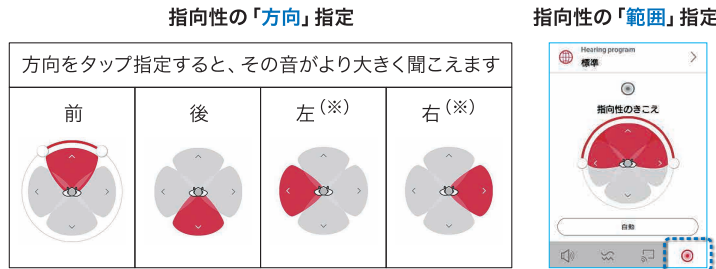
※ プログラム [標準] でのみ利用可能

マニュアル指向性を利用できるのは、Signia Xperience・Nx・primax・binax シリーズの 7/5 クラス両耳装用の場合です。

※ ツインマイク、e2e 機能必要。

一般的に特別な設定を行わない限り、補聴器の指向性マイクは自動的に動作して話相手の声が最も聞き取りやすいように集音しています。
本機能のマニュアル指向性はユーザー様が指向性をマニュアル (手動) で行えるようにするものです。画面をタップして聞き取りたい「方向」または「範囲」を指定してお使いいただけます。

※ [自動] はマニュアル指向性を解除し、指向性を自動モードに戻すためのボタンです。マニュアル指向性使用後は、[自動] をタップして自動モードに戻しておくことをお勧めします。

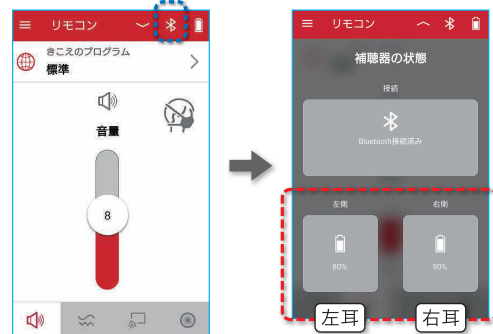


(※) 7クラスはより上位の指向性機能「スピーチフォーカス360°」を搭載しているため、左右方向を選択した場合に左または右からの音声が上図のような印象で聞こえます。
5クラスの場合は左右からの音声がほぼ同じ大きさで聞こえます。

⑥ 電池残量チェック

補聴器の電池残量をだまかに知ることができます。

Bluetooth ペアリング



このように電池残量がパーセント表示されます。

その他の方法 (音を利用) でペアリングまたは、Bluetooth がオフ状態

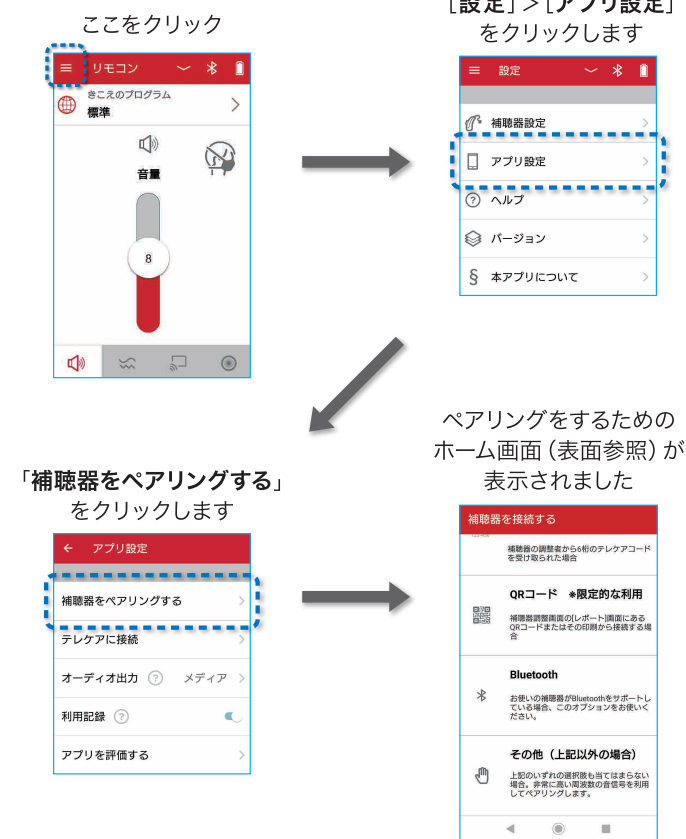


次に [OK] をタップすると補聴器が「ピー」という音 (ピー音) をお耳に届けます。ピー音の回数が電池残量を表します。

ピー音回数	電池残量
3回	十分にあります
2回	半分程度
1回	かなり少ない

● もう一度ペアリングを行うには

⑦ 設定メニュー



シグニア アシスタント の使い方

シグニアアプリの中にある機能です。どう聞こえるか選ぶだけ。
ユーザー様の好みに合わせてAI (人工知能) が最適な音に調整します。

シグニアアシスタントの利用条件・利用開始手順：

- Bluetooth機能を搭載した Signia Xperience 補聴器が必要です。
- 販売店でアシスタントの機能をオンに設定してもらう必要があります。
- シグニアアプリと補聴器を Bluetooth 機能を使ってペアリングを完了してください。
- 初めてお使いになる場合は利用規約が表示されます。同意する旨の [✓] を2か所に入れて [続ける] をタップします。

※ 同意いただけない場合はシグニアアシスタントを利用できません。

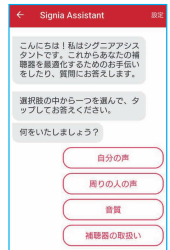
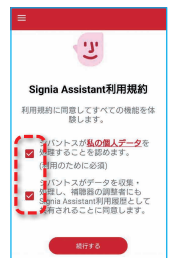
※ シグニアアシスタントによる調節のためにお使いの補聴器データをシバントスが収集・処理させていただきますが、データは完全に匿名のものとして扱われます。

※ シグニアアシスタントはインターネットオンラインかつ Bluetooth オン状態でのみご利用いただけます。機内モードではご利用いただけません。

ホーム画面が表示されます。これでシグニアアシスタントを利用することができます。

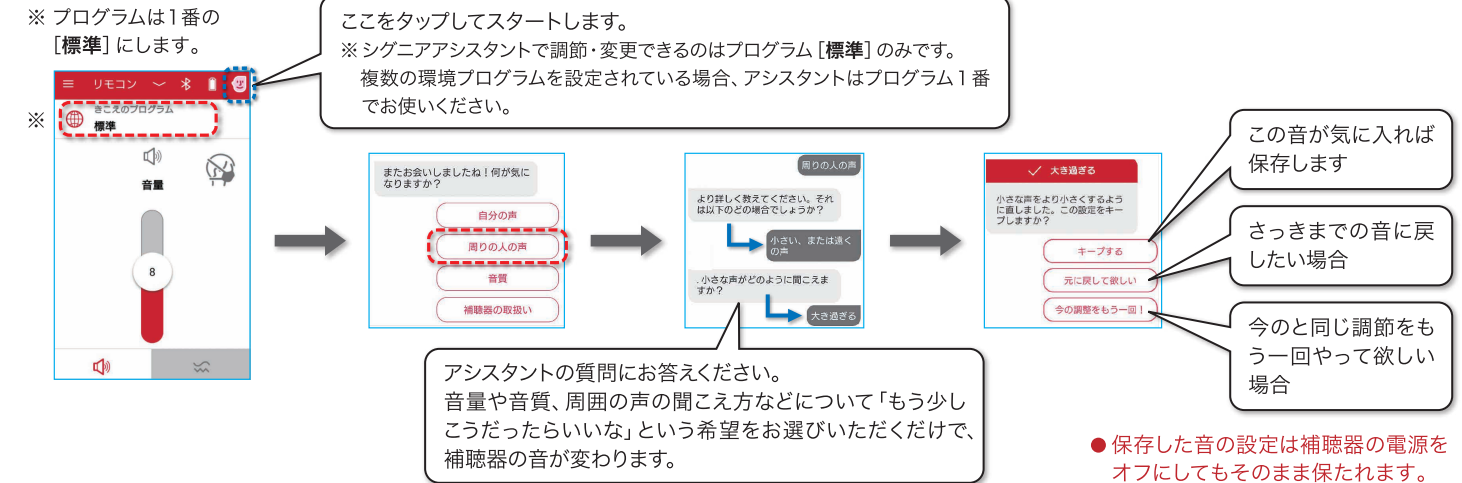


シグニアアプリを起動すると、画面右上にアシスタントの顔マークが表示されます。顔をタップしてください。

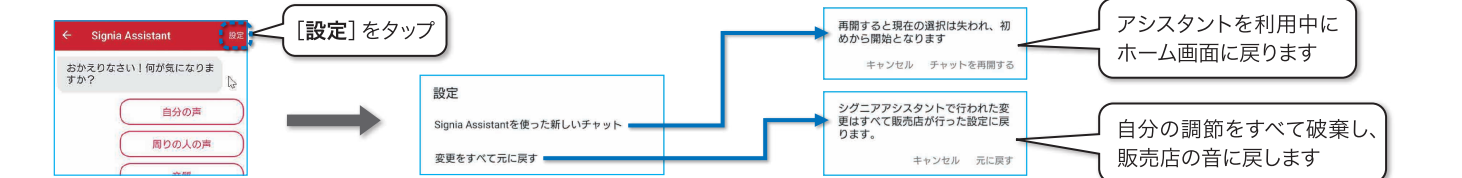


【ホーム画面】

【基本の操作】 例：「周囲の話し声が大き過ぎる」



【設定メニュー】 ホーム画面に戻りたい / 一番最初の状態に戻したい



【シグニアアシスタントはこれにお使いください】

- 補聴器は会話の声が最も聞きやすくなるように補聴器販売店で調整を行っています。
- シグニアアシスタントでたくさんの変更を加えすぎると、かえって会話の声が聞きづらくなってしまう場合もあるため、アシスタント

による変更は少しずつ行うようにしましょう。

- シグニアアシスタントは補聴器の補助的な調節を行うものであり、その範囲は限られます。補聴器をお使いの上でお困りごとやご相談がありましたら、補聴器販売店までご相談ください。